

# 人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。



## 戦争と平和の人権

三橋中学校1年  
野中 湖

現在、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が数カ月にわたって続いています。テレビでその映像を見るたびに、あらためて「戦争」「平和」「人権」について考えさせられます。

学校の勉強で「人権とは幸せに生きるための権利」と学習しました。では、戦争には「人権」というものがあるのでしょうか。

戦争に勝つために、政府の命令で親から離れ、戦場へと送られ、亡くなられた人たちがたくさんいます。また、戦場にいかなくても住んでいる所に爆弾を落とされ、何の罪もない人々もたくさん亡くなられています。

私が小学校6年生の頃読んだ「アンネの日記」には、主人公アンネ・フランクが、第一次世界大戦中、ドイツ兵に

見つからないよう屋根裏部屋に隠れたり逃げ回ったりした日々や、ナチスのユダヤ人への差別、大量虐殺なども書かれています。

日本でも70年以上前に、戦争があり、日本のいたるところが空襲され、多くの人たちが命を失い、家を焼かれました。

沖縄ではアメリカとの激しい地上戦が続き、兵士をはじめ、多くの一般の人々が亡くなられました。その中で、私たちと歳がそんなに違うない「ひめゆり部隊」の女学生さんたちが、弾が飛び交う中、けがをした兵隊の看病や、水くみや米炊きなどの仕事を命がけでされました。そして、その多くの人たちが亡くなられたことや、辛うじて生き残られた方が、「自分だけ生き残って申し訳ない」と罪悪感に悲

しまれたことも知りました。

広島や長崎でも原子爆弾で、たくさんの方の夢や希望や命が一瞬にして奪われました。

このように、「戦争は最大の人権侵害」とも言われ、人々が幸せに生きる権利や人々の大切な命を奪い去ります。

なぜ人間は、人間同士で争い続けるのでしょうか。まったく不思議でなりません。命は尊く、人は死んだら戻ってこないとわかっていなのに、「戦争」の反対語に「平和」があります。平和とは、人々が安心して暮らす「人権」そのものの意味ではないのでしょうか。

世界の中では、今も戦争や紛争が起きています。日本の中で私たちがこうやって、当たり前に平和に過ごしている時間は、誰かが安心して過ごしたかった一日かもしれない

ん。

しかし、平和は、決して当たり前ではなく、いつまで続くかわかりません。だからこそ、守り続けなければならず、戦争は絶対にあってはならないと、平和な中に生きる私たちがいつも考え、願っていることだと思います。

そのために、今生きていることに感謝し、周りの人を大切に、行動していきたいと思えます。

### 【先生からの一言】

今まさに現実にかけている軍事侵攻というものについて、あらためて「戦争は最大の人権侵害」という観点で、自らの考えを書いた作文です。命こそかけがえのないものとして、悲痛な想い、平和への願いが強くつづられています。

10 / 15  
2022. No.417

# 柳川

Public relations magazine of Yanagawa

広報やながわ

広報やながわ

令和4年10月15日号 No.417

発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1  
編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520  
URL <https://www.city.yanagawa.lukuoka.jp/> ●e-mail [kohno@city.yanagawa.lj.jp](mailto:kohno@city.yanagawa.lj.jp)

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

## CONTENTS

	ページ
19人の市議会議員が決定	2-3
秋の文化事業、コロナ支援情報ほか	4-5
お知らせ掲載板	6-7
人権・同和教育シリーズ	8

## 大いちょうに別れ

琴奨菊引退秀ノ山製名披露大相撲が10月1日、両国国技館で行われました。断髪式では、古賀誠元琴奨菊後援会名誉会長や金子市長ら約400人がはさみを入れ、最後に師匠の佐渡ヶ嶽親方(元関脇琴ノ若)が長年、慣れ親しんだ大いちょうを切り落としました。「琴奨菊最後の一番」では長男弘人くん、次男将弘くんが土俵に上がり、親子で「琴バウアー」を披露し、観客を沸かせました。

